

グリーフサポートせたがや 2019年度活動報告



活動期間
2019年7月1日～
2020年6月30日

2020年の年明けから広がりはじめた新型コロナウイルスの影響で、2019年度後半は活動の内容を大幅に変更しました。おとな対象のプログラムやサポコミュカフェはオンラインで開催。参加された方々の言葉から、人とのつながりを感じる機会が大切であることを改めて実感しました。

サポートプログラム

こどもプログラム、おとなプログラム、パートナー死別ピアサポートプログラムの参加者数は、こどものべ14名、おとなのべ105名、参加したファシリテータのべ102名でした。



ファシリテータ養成講座

2019年度は1回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は10名でした。2020年5月に2回目を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止しました。



個別相談

対面相談の来談者はのべ46名、電話相談の利用者はのべ43名でした。個別相談は世田谷区グリーフサポート事業の補助により初回は無料です。

サポコミュカフェ

サポコミュカフェは参加者のべ59名(内9名こどもの参加)でした。2020年6月のサポコミュカフェは初のオンラインでの開催となり、画面に映るサポコハウスの映像に、参加者から「懐かしい」との声も上がりました。



ご寄付をお願いしています

グリーフサポートせたがや「サポコハウス」を継続的に運営するためにご寄付をお願いしています。詳しくは、sapoko.org/support をご確認ください。賛助会員も募集しています。ぜひ継続的にご支援いただけると嬉しいです。

会費:個人 1口 5,000円、団体 1口 10,000円(会計年度7月1日～翌6月30日)。

不要になった本やCD、DVDで寄付できる仕組み「ありがとうブック」さんでの支援もできます。
<https://www.39book.jp/supporter/welfare/griefsupportsetagaya/>

ありがとう。
ブック



いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にに使わせていただいております。

講座・ワークショップなど

全3回にわたる連続講座「映像でみるグリーフ」を開催し、講演録を発行しました。2020年1月には講演会「こどものグリーフに寄りそう～ダギーセンターの取り組みに学ぶ」(講師:ダギーセンターJoan Schweizer Hoffさん、あしなが育英会西田正弘さん(世田谷区後援))を開催しました。43の団体に賛同いただき、140名の方にご参加いただきました。



連続講座「映像でみるグリーフ」

第1回「隣る人」

講師:稲塚 由美子さん

第2回「花はんめ」

講師:金 聖雄さん

第3回「聞こえてる ふりをしただけ」

講師:今泉 かおりさん

講演会

「こどものグリーフに寄りそう～
ダギーセンターの取り組みに学ぶ」

講師:ダギーセンターJoan Schweizer Hoffさん



講演録「映像でみるグリーフ」

「こどものグリーフサポートプログラム」を発行

「こどもグリーフサポートプログラム」をサポコハウスの見取り図もつけて分かりやすく説明した冊子を発行しました。これからもグリーフサポートを広く届けることができるように、さまざまなかたちで情報発信を続けていきたいと考えています。

<https://sapoko.org/dat/activity/1/20140819/3.pdf>
からご自由にダウンロードできます。



2019年度決算報告

2019年度収支報告(2019年7月1日～2020年6月30日)

収入		支出	
会費	415,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	4,479,765
グリーフに向き合うスペース運営事業	424,700	グリーフに関わる普及・啓発事業	3,109,255
グリーフに関わる普及・啓発事業	553,830	管理費	557,489
助成金・補助金	3,691,200	次期繰越	5,981
寄付金	3,067,731		
利息	29		
収入合計	8,152,490	支出合計	8,152,490

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業